

第62回宮崎県スポーツ少年団中央大会 競技順序

7月11日(土)

開場 8:00

監督會議 8:30

トラック競技

フィールド競技

[illegible]

競 技 注 意 事 項

1 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項により実施する。

2 招集について

競技者は必ず、招集所（第2ゲート、1500mスタート地点スタンド下）でコールを済ませた後、招集所で待機すること。コールに遅れたものは欠場とみなし、競技に出場できない。

競 技 種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド競技	競技開始50分前	競技開始40分前

3 トラック競技は次の要領で行う。

(1) スタート合図は、英語とする。

(2) 同じ競技者が2回不正スタートをした場合にその競技者を失格とするが、オープンとして走らせる。また、トラック競技におけるスタート時の発声を禁止する。

(3) スタート方法は、1～3年生はスタンディングスタートとし、スターティングブロックは使用しない。4～6年生はクラウチングスタートとし、スターティングブロックは使用しても使用しなくてもよい。

(4) 4×100mRは、リレーオーダー用紙を当該招集完了時刻1時間前までに、競技者係に提出すること。

(5) 4×100mRは、出場するメンバーのうち、少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。

(6) リレー競技におけるテイクオーバーゾーンの距離は30mである。テイクオーバーゾーンの中でスタートしなければならない。

(7) リレー競技に出場する選手のユニフォームは、原則としてチーム全選手とも同一デザインとする。

(8) 4×100mRでは、レース終了後に次走者がつけたマーカを前走者が必ず回収する。

(9) 80mハードルは、高さ70cm、台数9台とし、インターバル等は次の規定にて実施する。

スタートから第1ハードル	インターバル	最終ハードルからゴール
13m	7m	11m

4 フィールド競技は次の要領で行う。

(1) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとし、背や腰などからの着地は無効試技とする。判定は競技役員に従う。

(2) 走高跳のバーの上げ方は下表のとおりとし、3回続けて失敗した時点で終了とする。

区分	練習	試 技			
男女	1m00	1m05	1m10	1m15	以降3cm刻みで上げる

(3) 走幅跳の試技は、小学生は3回、中学生は6回とする。

5 ウォーミングアップは、バックストレート及び屋内走路で行う。指導者のウォーミングアップ会場への立ち入りは、各クラブ1名のみとする。

6 競技者の競技場への入退場は、競技役員の指示・誘導による。

7 各種目1位にメダルと賞状、2位と3位に賞状を授与する。

8 競技場内へは当該競技者及び当該競技役員以外立ち入ることはできない。

ゴミの持ち帰りの徹底を各クラブにてお願いいたします。